

令和 7 年度石狩湾ニシン 漁期後前調査速報（厚田地区）

2026 年 4 月 7 日に厚田地区で漁協青年部によってニシン漁期後調査が行われました。中央水産試験場では漁獲物の一部を持ち帰り、生物測定を行いましたので、その結果を報告いたします。石狩湾漁協厚田支所の職員の皆様、青年部の皆様、調査お疲れ様でした。

【結果】

1. 採集状況

4 月 6 日に網入れ、7 日に網揚げで調査が行われました。調査に用いられた刺し網の目合は、1.8, 2.0, 2.1, 2.2, 2.3, 2.4 寸でした。2.2 寸の網の長さは 200 間、その他の目合は 50 間ですべての目合でニシンが採集されました（表 1）。

表 1 ニシンの採集状況

目合	漁獲重量	標本重量	標本個体数
1.8 寸	3.2 kg	3.2 kg	15 尾
2.0 寸	26.2 kg	15.4 kg	65 尾
2.1 寸	3.8 kg	3.8 kg	16 尾
2.2 寸	5.1 kg	5.1 kg	18 尾
2.3 寸	1.6 kg	1.6 kg	5 尾
2.4 寸	1.3 kg	1.3 kg	4 尾

2. ニシンの尾叉長・体重

すべての目合を合計すると、26～29 cm のニシンが多く採集されました（図 1）。

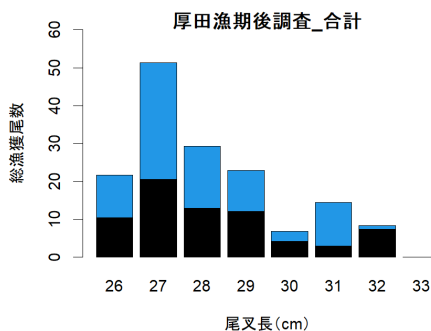


図 1 合計の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

目合別にみると、1.8～2.1 寸では尾叉長 26～29 cm 台が多く、2.2 寸では 26～28 cm 台の採集が減り、2.3 寸以上では尾叉長 30 cm 以上の個体がほとんどとなりました。

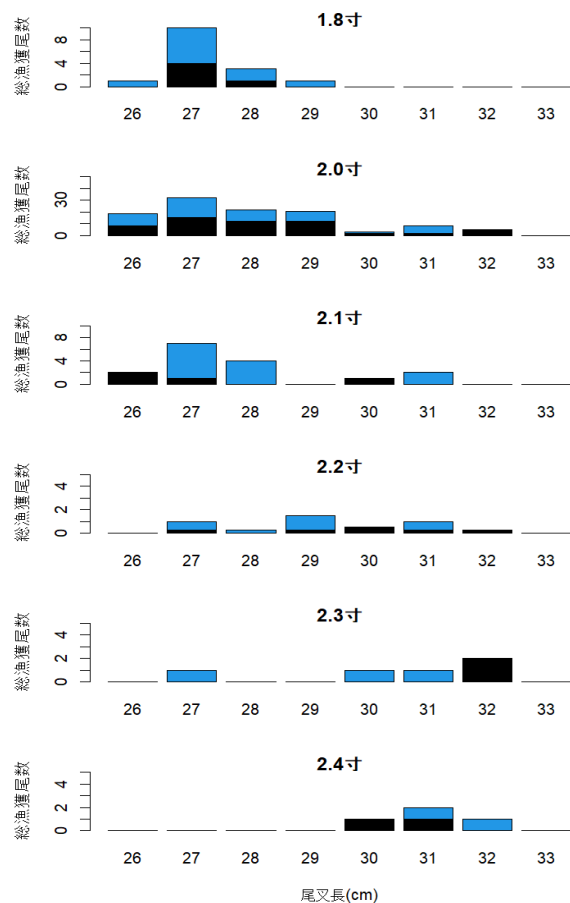


図 2 目合ごとの尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

3. メスの成熟度：完熟個体が 97.2%

メスの卵巣は、すべての個体の 97.2% で完熟状

態で、残りは完熟直前の状態でした。

4. 脊椎骨数について

冬期～春期に石狩湾周辺に産卵来遊するニシンは、石狩湾系と北海道－サハリン系の2つの群が存在します。石狩湾系の脊椎骨数の群における平均値は54.4以上、北海道－サハリン系は54.0～54.3です。今回、採集されたニシンの脊椎骨数の平均値は54.24であったことから、北海道－サハリン系主体の群であったと判断できます